

令和6年度 事業報告

令和6年度における本会は、地域住民の多様な福祉課題や潜在的な福祉ニーズの解決に向けて福祉関係団体及び行政機関等の協力を得ながら、事業計画に基づき各種事業に取り組みました。

具体的には、「誰もが役割を持ち、いざという時に声を掛け合える地域づくり」を目指し、生活支援体制整備事業の推進や、ひとりで悩みを抱えないための仕組みである「心配ごと相談所」や、新規事業である「終活相談会」を開催し、年9回延べ29件の相談に応じました。

また、令和7年2月8日（土）にきらりホールで開催した「第24回鎌ヶ谷市社会福祉大会」では、日々福祉活動に貢献されている皆さまに敬意と感謝の意を表しました。記念講演では、地域共生社会の実現を目指し小国士朗事務所の小国士朗氏をお招きして、「注文をまちがえる料理店のこれまでとこれから」のご講演をいただき、約130名の方に足を運んでいただきました。

さらに、生活困窮者への支援としては、千葉県社会福祉協議会からの受託事業で、新型コロナウイルス感染症を原因とする減収や失業等への支援である、生活福祉資金（通称「コロナ特例貸付」）の償還に関する相談や指導も対応しました。

なお、令和6年度に実施した事業の詳細につきましては、次のとおりです。

1 法人運営

(1) 会務運営

◎理事会

第1回 6月6日（木）

- ・令和5年度補正予算について
- ・令和5年度事業報告について
- ・令和5年度決算について
- ・評議員候補者の推薦について
- ・評議員選任解任委員会委員の推薦について
- ・令和6年度定時評議員会開催について

第2回 12月20日（金）

- ・職員給与規程の一部改正について
- ・第24回鎌ヶ谷市社会福祉大会について

第3回 3月17日(月)

- ・職員給与規程の一部改正について
- ・役員等賠償責任保険の加入について
- ・令和7年度事業計画案について
- ・令和7年度予算案について
- ・令和6年度第2回評議員会開催について

◎評議員会

第1回 6月24日(月) 定時評議員会

- ・令和5年度補正予算について
- ・令和5年度事業報告について
- ・令和5年度決算について
- ・理事の選任について

第2回 3月25日(火)

- ・令和7年度事業計画案について
- ・令和7年度予算案について

◎内部監査 5月20日(月)

- ・令和5年度事業報告
- ・令和5年度会計決算

(2) 社協会費の納入状況

①一般会費	7,318,260円	(39自治会・町会、個人)
②法人会費	551,000円	(78件)
③施設・団体会費	280,000円	(48件)
合計	8,149,260円	

○自治会・町会へ福祉事業費として、1,810,000円を支出し、地域活動の推進に寄与した。

(3) 啓発事業

- ・ホームページや「X」(旧 Twitter) による啓発として、市社協及びボランティアセンターや、地区社協の事業実施状況等、タイムリーな情報発信に努めた。
- ・広報紙「鎌ヶ谷社協だより」を年3回発行し、内1回は紙面数を増やす等、社協事業の啓発に努めた。また、発行内容に応じ、自治会・町会による全戸配布や新聞折り込み、市内8か所の駅への設置を行う等、効果的な情報提供に努めた。さらに、新規の設置場所としてさわやかプラザ軽井沢への配架も実施することができた。

(4) 市民・学校・福祉団体等への支援

- ・市内で住宅火災が発生し、2件の見舞金計10,000円を交付した。
- ・民生委員児童委員協議会事務局として、会務の運営、専門部会活動への協力及び関係機関との連絡調整に努めた。また、千葉県民生委員児童委員協議会が主催する研修会等への参加を図る等、民生委員児童委員の資質の向上に寄与した。
- ・遺族会の会務運営に協力した。
- ・民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会等、福祉関係団体に助成し、その活動を支援した。(計490,000円)
- ・市内全小学校及び中学校(計14校)に福祉活動助成金として助成し、福祉教育(校内環境美化、福祉募金活動等)の支援に努めた。(一校当たり50,000円)
- ・障害者週間に合わせて、アクロスモール新鎌ヶ谷、ショッピングプラザ鎌ヶ谷、市役所市民ホールに、市内17か所の障がい福祉サービス事業所のパネルを展示した。市民ホールでは手作り品の販売を行い、各事業所の活動の啓発に寄与した。
- ・市内中学校の制服リユース事業を実施した。(提供者102名364点、利用者196名281点)

2 地域福祉事業

(1) 地区社会福祉協議会事業の活性化

地域福祉活動の中核的組織として、地域により近い6地区社協が窓口となり、「福祉サービス案内」の充実が図れるよう地区担当職員を配置するとともに、地域福祉事業に必要な知識の習得を図った。

◎各地区の情報共有のための連絡会議及び事務局会議等の開催

①地区社協連絡会議(年3回実施。うち1回は研修会として開催)

②地区社協連絡会研修会（1月14日実施）「生活支援体制整備事業に関する研修会」

③地区社協事務局会議（年9回実施）

◎その他資質向上のための研修会実施

①災害ボランティアセンター立ち上げ訓練（11月16日実施）

講義 「能登半島沖地震の現状と災害ボランティアセンターについて」

講師 牧内 大輔 氏（千葉県社会福祉協議会）

◎市社協との共催事業 成年後見制度・遺言個別相談会

将来に備え、成年後見制度の利用及び遺言や相続等について司法書士の協力を得て、市社協との共催にて相談会を開催した。（市内7か所・計22件）

<参考>

○中央地区社会福祉協議会

	事業名	内容
広報啓発	地区社協広報紙 福祉健康フェア	<ul style="list-style-type: none"> ・「まごころ65号」（5,300部）を発行 ・「まごころ66号」（5,000部）を発行 ・総合福祉保健センター1Fロビーにて地区社協広報紙を展示
ふれあい交流	茶話会	<ul style="list-style-type: none"> ・70歳以上の方を対象とした交流会 ラジオ体操、保健指導、玉入れゲーム、はねっこゲーム、バグゴゲーム、健幸サポーターによる体操と脳トレ、バス遠足「アンデルセン公園」 郷土資料館の方によるお話、手品サークルの鑑賞、はもれびクリニック在宅医療のお話、アコードマンドリンアンサンブル鑑賞、歌などをして交流会を行った。 （年6回延べ167名参加）
	介護予防教室	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方を対象に行う健康長寿体操教室 インストラクター指導のもと、ストレッチ体操を行った。

在宅福祉	お年寄りとの交流会	(年3回延べ121名参加) ・ひとり暮らしの高齢者を対象に、4つの地域で各援護グループに依頼し交流会を行った。 (各グループ年2回実施、年8回延べ167名参加)
ボランティア育成	ボランティア研修会 中央地区 ふれあいのつどい 中央児童センター わんぱくこども村 まつり	・運営委員を対象に「リアル野球盤ゲーム」体験 ・地区ふれあい員の研修会（自連協との共催） 西部地域包括支援センター矢戸所長による 「要介護状態になった時に知っておくべきこと、 もしもに備える」の講演会を行った。 (52名参加) ・折り紙コーナー参加 (6名参加)
実行委員会	ふれあいサロン	・地域の高齢者や小さな子ども連れの親子など、 「誰でも気軽につどえる場所」を目指しサロンを 第4木曜日に開催した。 小物づくりや折り紙、脳トレプリント・ぬり絵 川柳づくりを行った。 (年9回延べ132名参加)
その他	中央公民館 ふれあいまつり	・4委員会で参加協力し、喫茶室を開催した。 (2日間延べ2,562名参加)

◎見守りパトロール（通年、4委員会で月毎に実施した。）

○中央東地区社会福祉協議会

	事業名	内 容
広 報 啓 発	地区社協広報紙 ホームページ 福祉健康フェア	<ul style="list-style-type: none"> ・「おもいやり」(4,500部)を年2回発行 ・ホームページに掲載し、地区社協事業等の啓発に努めた。 ・総合福祉保健センター1Fロビーにて地区社協広報紙を展示
ふ れ あ い 交 流	地区ふれあい祭り バス交流会 防災備品点検・発電機点検	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方とふれあいの場(クリスマス会) ・地域高齢者との交流会 (介護予防教室参加者対象。28名参加) ・運営委員を対象に防災備品点検 委員会等で発電機動作確認を2回実施 (延べ27名参加)
在 宅 福 祉	介護予防教室(6回)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方を対象に、ウォーキング講習会1回・健康体操を年5回実施(年6回延べ197名参加) ・参加者を対象にバス交流会(28名参加)
ボ ラ ン テ ィ ア 育 成	ボランティア支援活動 青少年福祉活動① 青少年福祉活動② 青少年福祉活動③ 五本松小ふれあい会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特別養護老人ホームにおいて、定期的にボランティア活動「シーツ交換」※中止 ・ひょうたんまつりにて工作教室開催 (124名参加) ・五中福祉委員・初小・五本松小6年生が、ひとり暮らし高齢者への年賀状を出す事業を実施(合わせて198枚完成) ・2年生と高齢者との交流会(昔あそび) (18名参加) ・1年生と高齢者との交流会(昔あそび) (12名参加)

	初小ふれあい会 中央児童館ふれあい動物園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生・2年生と高齢者との交流会（昔あそび） （27名参加） ・ 折り紙工作教室を開催・駐輪場整備等手伝い （13名参加）
部 会 活 動	サロン事業（11回） （翔友会）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の方が参加出来る交流の場 （年11回延べ363名参加） <p>※8月は熱中症対策のため開催せず。</p>
そ の 他	運営委員研修会 脳トレプリント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運営委員、地区ふれあい員、民生委員児童委員、援護グループ、各自治会長を対象に 「災害に備え、今できること～あなたの地区の防災活動～」研修会を実施した。（51名参加） ・ 脳トレプリントを地区社協掲示板・ラック・体操教室・東武自治会館で配布

○東部地区社会福祉協議会

	事業名	内容
広 報 啓 発	地区社協広報紙 福祉健康フェア	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ふれあい」（8,300部）を年2回発行 ・ 総合福祉保健センター1Fロビーにて地区社協広報紙を展示
地 域 交 流	東部ふれあいまつり ふれあい福祉まつり 交流バスハイキング	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東部学習センター利用団体サークル発表会、展示 （来場者1,278名） ・ 東部地区老人会、談話室、ゲストバンドの発表、展示（来場者314名） ・ 閉じこもりがちな高齢者を対象（36名参加） 雪印メグミルク、道の駅しょうなん
健 康 福 祉	介護予防 みんなで健康 「ほのぼの会」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の高齢者を対象 （年8回延べ190名参加）

	ふれあいサロン 「すみれ」	<ul style="list-style-type: none"> 誰でも気軽に立ち寄れる交流の場 (年11回延べ342名参加)
育成 研修	地区ふれあい員研修	<ul style="list-style-type: none"> 講演会、担当民生委員との顔合わせ (129名参加) 出席者：地区ふれあい員、自治会長、 自連協福祉委員、育成研修委員
	福祉講座	<ul style="list-style-type: none"> 「消費生活セミナー」(20名参加) 冊子やプリントをもとにした事例紹介 講師：消費生活相談員 佐瀬由美子氏
	青少年育成	<ul style="list-style-type: none"> 道野辺小、東部小児童を対象 「スポーツ・ゲーム体験会」18名参加 ボッチャ、ストラックアウト、輪投げ、ぬり絵 点数をつけて、金・銀・銅メダル授与

○西部地区社会福祉協議会

	事業名	内容
広 報 啓 発	地区社協広報紙	<ul style="list-style-type: none"> 「あけぼの」号外(2,800部)を発行 「あけぼの63号」(3,100部)を発行 「あけぼの64号」(3,100部)を発行
	福祉健康フェア	<ul style="list-style-type: none"> 総合福祉保健センター1Fロビーにて地区社協広 報紙を展示
地 域 交 流	サロン「梨の花」	<ul style="list-style-type: none"> 自治会館を利用してサロンを開催した。 くぬぎ山自治会館(年6回延べ143名参加) 北初富第5自治会館(年3回延べ49名参加)
	コミセンまつり	<ul style="list-style-type: none"> コミセンまつりの手伝い(ゲームコーナー) パネルの展示(6名参加)

地 域 交 流	おせんべい焼き	・くぬぎ山児童センター事業手伝い（6名参加）
	子育て支援事業	・子育て中のママ向け「アロマでリフレッシュ」を開催した。（33名参加）
	昔あそびの会	・くぬぎ山児童センター事業と共催 こま・羽子板・けん玉などを児童と一緒にやった。（22名参加）
	どんぐり春まつり	・くぬぎ山児童センターまつりの手伝い（ゲームコーナー）（6名参加）
	脳トレプリント	・くぬぎ山コミュニティセンター玄関脇と北初富（山崎理容室）に脳トレプリント（5種類）を設置した。2週間に一度プリントを入れ替え。
在 宅 福 祉	オレンジ交友会 （認知症予防の会）	・申し込み制とし、脳トレ、ゲームなどを実施した。（年8回延べ188名参加）
	高齢者支援教室	・栄養士・歯科衛生士による栄養指導と口腔ケア指導を実施した。 ・介護について施設で学ぼう（会場：シルバーケア鎌ヶ谷）を開催した。（年2回延べ62名参加）
	在宅介護者のつどい	・介護をしている方の悩みごとの話し合い。 ・「アロマでリフレッシュ」を開催した。（年2回延べ32名参加）
ボ ラ ン テ	体操講習会	・中島一郎先生による体操講習会を実施した。 （総合福祉保健センター・くぬぎ山コミュニティセンターを利用） （年2回延べ110名参加）

イ ア 育 成	わかば (健康作りの会) 講演会	<ul style="list-style-type: none"> ・会員を対象として、浅沼美那子先生による体操教室を開催した。(年4回延べ147名参加) ・金原亭馬治師匠による落語「くぬぎ山寄席」(60名参加) ・西部小学校6年生を対象に「命の授業」(講師今西乃子氏)を開催した。(87名参加)
そ の 他	ラジオ体操	<ul style="list-style-type: none"> ・くぬぎ山公園を利用し、毎月第2・第4金曜にラジオ体操を実施した。(全22回延べ393名参加)

○南部地区社会福祉協議会

	事業名	内容
広 報 啓 発	地区社協広報紙 福祉健康フェア	<ul style="list-style-type: none"> ・なんぶだより59号 6,000部発行 自治会に依頼し、各戸配布を行った。 ・総合福祉保健センター1Fロビーにて地区社協広報紙を展示
在 宅 福 祉	体操教室 ウォーキング 高齢者バスハイキング 子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・チェアヨガやストレッチ・ズンバなどを行い健康増進や介護予防を目的とした事業を実施。(年6回延べ176名参加) ・年間2回開催。春と秋に南部公民館周辺の散策や市川市動植物園のもみじ山まで歩き交流を深めた。(延べ41名参加) ・一人暮らしの高齢者を対象に、茨城県牛久大仏と牛久シャトーを見学。(44名参加) ・南部公民館、南児童センター、地区社協との三者共催事業。未就学児の子供と親を対象にストレッ

		<p>チヨガ、リトミック、親子ダンスなどで子育て支援を行った。(年3回延べ35組参加)</p>
事業	(災害時支援部会) 防災倉庫点検	<ul style="list-style-type: none"> ・防災について学ぶ目的で、千葉県西部防災センターにて孫の手会と合同バス研修を行った。(31名参加)
	(地域交流部会) 南部ふれあいの集い	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館改修工事に伴い中止。
	南児童センター交流	<ul style="list-style-type: none"> ・ありんこ春まつりに参加(3名参加) ・お煎餅焼きに参加(3名参加)
	道野辺保育園交流	<ul style="list-style-type: none"> ・年長組の園児へ、委員手作りの犬のストラップを贈った。園児35名分を制作
	南部いきいきサロン	<ul style="list-style-type: none"> ・手芸や脳トレを楽しみながら、交流を図った。(年間7回延べ138名参加)※公民館改修工事に伴い12月の活動は中止
	公民館まつりに参加	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館トイレ改修工事に伴い中止。
	グラウンド・ゴルフ大会	<ul style="list-style-type: none"> ・第四中学校の校庭を会場に、地域住民と中学生がグラウンドゴルフで交流を図った。(76名参加)
	(なんぶ孫の手会部会) 孫の手バス研修	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県西部防災センターで防災体験を行い、災害時の行動等について学んだ。(31名参加)(再掲)
	ボランティア活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ出し(年間64件)
その他	周知活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや「X」を活用して情報発信を行った。

○北部地区社会福祉協議会

	事業名	内容
広報	地区社協広報紙	<ul style="list-style-type: none"> ・「北部地区社協だより63号」(2,800部)を発行 ・「北部地区社協だより64号」(3,000部)を発行
ふれあい交流	サロン事業 (サロンほ・く・ぶ) おせんべい焼き	<ul style="list-style-type: none"> ・北部地域住民を対象に閉じこもり防止、異世代交流等で気軽に立ち寄れる憩いの場を提供 工作や折り紙、脳トレなど12回開催 (延べ152名参加) ・栗野コミュニティセンターにて、地域の子ども達、保護者、ふれあい交流委員との交流等 (延べ360名参加)
在宅福祉	元気アップ教室 友愛訪問 年賀状事業	<ul style="list-style-type: none"> ・元気アップ教室を4回開催 軽体操・ハーモニカ演奏・八丈太鼓演奏、健康チェックなど。(延べ113名参加) ・ひとり暮らしの高齢者と高齢者世帯に、委員が手紙を作成し、お便りを配付する。(508件) ・ひとり暮らしの高齢者の方に、小、中学生から年賀状を送った。(123枚)
健康推進	健康体操 ヨガ教室(保育付き)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方を対象に、健康づくりを目的とした健康運動指導士による軽体操を11回開催した。 (延べ347名参加) ・地域の20代～50代の女性を対象に、リフレッシュを目的としたヨガを3回開催した。 (延べ28名参加)
その他	北部ふれあいまつり 福祉健康フェア	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民との交流と情報交換 年賀状作成ブースを開催 ・総合福祉保健センター1Fロビーにて地区社協の広報紙掲示

(2)生活支援体制整備事業

○第1層協議体活動

令和6年度鎌ケ谷市地域包括ケア推進協議会に出席（8月29日、2月13日開催）

○通所型サービスCでの社会資源情報の提供及び自立支援型地域ケア会議へ第2層コーディネーターと共に出席

○第2層協議体活動

地域包括ケアシステムの一部である生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター設置業務委託事業＜実施主体：鎌ケ谷市＞）への取組として、6コミュニティエリアに配置した生活支援コーディネーターを中心に、それぞれの協議体で地域の実情に合わせた話し合いと実践を重ねた。

協議体名称	会議数	取組数	実施内容
中央地区第2層協議体	2回	3回	7月31日、11月27日、1月30日に「リアル野球盤ゲーム」を実施。ゲームの前はラジオ体操で体をほぐし、体操後は保健師の健康に関するワンポイント講座を実施。ゲームの後は、同じチームになった方で、ゲームの感想などのほか、介護保険や健康のこと、地域での困りごとやご自身の悩み事など、普段気になることを話し合いながら交流を深めた。
中央東地区第2層協議体	14回	4回	4月23日、4月26日に鎌ケ谷ライフタウン集会所にてスマホ講座を開催。（参加者はそれぞれ8名、15名）。なお、4月26日はルネサンス協力のもと開催した。 5月24日、11月2日に東武鎌ケ谷自治会館にて健康チェックデーを開催（参加者はそれぞれ48名、34名）。骨密度測定や保健師、地域包括職員による健康相談会、健康に関する講演会も併せて開催した。
東部おたがいさまの会	2回	4回	小規模談話室「クローバー」を定期的で開催。新たな開催場所として新山会館を含めた4か所で、計4回開催。ボッチャやおしゃべりタイムをとおして参加者同士の交流を図った。今後も課題等を抽出しつつ、地区内に複

			数のクローバーの設置を目指す。(延べ参加者49名)
西部地区第2層協議体	7回		<p>〈くぬぎ山地区〉地域の見守りや安否確認をする「声かけ隊」活動を各自治会の協力のもと定期的実施した(計228回)(くぬぎ山1丁目から4丁目まで声かけ隊発足)。外出機会の一助とするため、新たに「声かけベンチ」を1台設置し、計5台となった(北初富地区含め計6台)。</p> <p>また、両活動のチラシの配布や掲示等を行い、啓発と周知に努めた。</p>
		11回	<p>〈北初富地区〉「身近な場所で体を動かす場が必要」との地域課題に対応するため、木刈橋自治会館で6回、北初富第5自治会館で6回の体操教室を実施した。</p>
		1回	<p>〈新鎌ヶ谷地区〉小学生の親子を対象にした「親子防災講座」を実施した。VRを使って震度6強の体験等を行った。4組の親子、計15名が参加し、防災に関する知識を深めた。</p>
南部ささえあい協議体	3回	3回	<p>南部公民館に来ることのできない方も気軽参加できるよう、出張講座を開催。また、イベント終了後には孤立防止の観点から交流会を開催した。</p> <p>5月9日、2月20日に北中沢コミュニティセンターにて郷土資料館学芸員による「近代から現代の鎌ヶ谷の歴史」を開催(それぞれ36名、26名参加)。11月15日にグリーンハイツ集会所にて郷土資料館学芸員による「近代から現代の鎌ヶ谷の歴史」を開催(38名参加)。</p>
たすけあい活動あさか(北部)	4回	12回	<p>北部公民館まで来ることが難しい方々のために、栗野・佐津間・軽井沢それぞれの地域で小規模活動を実施することとし、佐津間地区で計6回の健康体操を実施した。栗野地区</p>

			では、軽体操やゲームなどを行う談話室「ふらっと寄ってみよう会」を6回開催した。
--	--	--	---

○生活支援コーディネーター養成研修へ参加。(9月10日、10月11日)

○全体研修として、1月14日に総合福祉保健センター6階大会議室にて「生活支援体制整備事業に関する研修会」を開催した。

講師：菱沼 幹男 氏 (日本社会事業大学 教授)

事例発表及び協力 船橋市、船橋市社会福祉協議会、高根台よろこびの会、高根台地区社協、本中山地区社協

3 ボランティアセンター事業

市内のボランティア活動の拠点として、ボランティアにかかわる相談、連絡、調整、育成をはじめ、市民を対象にしたボランティア体験、各種講座等を実施して、ボランティア活動の推進に努めた。また、ボランティア団体への支援や他機関の講座や研修に協力した。さらに災害ボランティアセンターの周知と有事の際の円滑な運営のための協力者の募集を目的に、学生ならびに一般参加者を募り、総合福祉保健センターを会場に災害ボランティアセンター立ち上げ訓練(11月16日：58名参加)を実施した。

①相談・活動状況

ボランティア活動希望等に関する相談件数	83件
ボランティア依頼等に関するニーズ件数	188件
マッチング件数	556件
ボランティア活動の継続・支援に関する相談等件数	2,065件

②登録状況

ボランティア団体 (31団体)	812名	全社協ボランティア保険加入者 (11名)
個人ボランティア	203名	
合計	1,015名	

③事業の内容等

事業名	開催日等	参加者
ボランティア入門講座	6月28日 講師:小山恭子氏	66名
市民ボランティア体験	7月6日～7月18日 前期5メニュー	9名
	2月8日～3月10日 後期6メニュー	20名
夏休みボランティア福祉体験	7月27日～8月25日9メニュー	79名
災害ボランティア養成講座	11月16日災害VC 立ち上げ訓練	19名
スキルアップ講座	1月23日東葛管内V連協交流会	22名

④福祉講座等協力

事業名(依頼先等)	開催日	受講人数
鎌ヶ谷市赤十字奉仕団 「一日赤十字」車いす体験 (ゆうゆう四季の会)	7月10日	36名
第3中学校、第4中学校 「高齢者の方にとって暮らしやすい 地域にするためには」 (各地区ゲストティーチャー派遣)	第3中学校2年 7月8、12、17日	計170名
	第4中学校2年 7月9、12、17日	計123名
南部小学校 土曜参観 手話出前講座 (手話サークル「みどりの会」)	特別支援学級 6月22日	12名
	2年 6月22日	35名
鎌ヶ谷小学校放課後児童クラブ 手話出前講座 3カ所で開催 (手話サークル「みどりの会」)	8月29日	50名
		48名 45名
南部小学校1,2年合同保護者参観 手話出前講座 (手話サークル「みどりの会」)	12月3日	35名
北部シルバーカレッジ 手話出前講座 (手話サークル「みどりの会」)	11月18日	42名

⑤講師派遣等

事業名（依頼先等）	開催日	参加者
子育てサポーター養成講座 （こども支援課）	5月22日	12名
かまがや健幸サポーター講座 （高齢者支援課）	7月10日	13名
	11月28日	12名
認知症サポーターレベルアップ講座 （高齢者支援課）	9月20日	19名
保健推進員研修会 （健康増進課）	1月31日	10名

⑥他機関との情報交換

事業名（参加者等）	開催日	参加者
東葛地区ボランティアコーディネーター交流会（近隣9市）	11月28日	18名

⑦福祉用具等の貸出

備品名	貸出件数	貸出先
車いす	44	個人・小学校・行政・地域等
高齢者疑似体験セット	16	小中学校・企業・福祉施設・行政等
ボッチャゲームセット	19	福祉施設等・地域・小学校・医療機関・行政等
綿アメ機	2	自治会（機器の老朽化により9月から貸出し中止）

4 在宅福祉サービス事業

(1) ふれあいサービス

高齢者や障がいのある方、子育て世帯（産前産後）の方で、事情があり家事にお困りの方が「利用会員」となり、地域の中から参加した「協会員」が家事支援・介助等のサービスを有料で提供する、会員制の相互扶助（たすけあい活動）の福祉サービスを実施した。必要に応じ感染症対策や熱中症対策に配慮しながら、会員相互の安心・安全対策を講じ、可能な範囲で会員の自立に向けた支援を推進した。

○活動状況

利用会員	登録者人数	60名
	・利用人数	21名
	・安心登録人数	13名
	・休止・中止人数	26名
協力会員	登録者人数	27名
	活動人数	18名
延べ活動利用回数		550回
延べ活動利用時間数		621時間

○協力会員の研修会

内 容	開催日
協力会員登録更新・新規会員登録説明会「笑いヨガ」体験「事業概要説明」	4月12日
講義「食中毒などの食品衛生上の注意」「手洗いチェック」調理実習「子育て世帯向け簡単アレンジ料理」	7月23日
講義「産前産後世帯の関わり方について」実習「離乳食の試食」「沐浴」	9月9日
講義「フレイル予防とタンパク質のはなし」「手洗いチェック」調理実習「高齢者に向けた調理」	10月31日
講義「認知症サポーター養成講座」	2月20日

延べ66名参加

(2) 在宅介護者のつどい

在宅で身体の障がいや認知症などの家族を介護している方を対象として、日頃の介護疲れを癒すことを目的に、介護者同士の情報交換の場を提供した。また、市高齢者支援課の協力による健康チェックを行った。昨年に引き続き感染対策に配慮しながら開催した。開催中止の際は、「地区社協事業・心の相談事業案内」や「熱中症対策」等の情報提供を行った。地域新聞社からの依頼で記事掲載し、事業の周知に繋がった。

○事業の内容等

内 容	開催日
手工芸「トールペイント」	4月24日
体操「健康体操と脳トレ」	5月13日
バス交流会「ファンケル千葉工場」	6月11日
体操「笑いヨガ」「お話の時間」	7月4日
「地区社協事業・心の相談事業案内」「熱中症対策」のチラシ等送付（※熱中症対策のため中止し、資料の送付を行う）	8月
「レクリエーション」「介護体験意見交換」	9月13日
調理実習「秋の味覚を楽しもう」講話「これからも元気で過ごすために食事からできること」	10月9日
手工芸「フラワーアレンジメント」	11月25日
手工芸「クリスマスリースづくり」「お話の時間」	12月18日
新年交流会ミニコンサート「ミュージックベルバンド」 「介護体験意見交換」	1月24日
健康講話「歯のはなし」「お話の時間」	2月13日
手工芸「香りのちから～アロマセラピーでリラックス～」	3月11日

延べ85名参加

○地区別「在宅介護者のつどい」について

- ・ 9月12日に西部地区社協にてお悩み座談会を開催。参加者6名の近況報告等の情報交換を行った。
- ・ 11月15日に西部地区にて第2回を開催。参加者26名で講師から説明を受けながらアロマセラピーを行った。

5 相談事業

- (1) 心配ごと相談（毎週水曜日 10:00～14:00）
開催日数は51日であり、民生委員児童委員10名、学識経験者4名で相談にあたった。1日あたり相談員2名で対応した。
- (2) 心の相談（毎週月曜日、金曜日 10:00～15:00）
開催日数は92日であり、相談員3名で相談にあたった。1日あたり相談員1名で対応した。

○相談内容・延べ件数

	相談内容	心配ごと相談		心の相談	
		来談	電話	来談	電話
1	生計問題	1	1	0	0
2	年金問題	0	0	0	0
3	職業・産業問題	2	2	1	5
4	住宅問題	6	6	0	1
5	家族問題	3	3	3 2	2 4
6	結婚問題	2	0	0	0
7	離婚問題	0	1	0	0
8	健康・衛生問題	0	2	1 2	6
9	医療問題	0	0	1	0
10	精神衛生問題	0	3	1	1
11	人権・法律問題	3	2	0	0
12	財産問題	1	0	1	1
13	事故問題	0	0	0	0
14	児童福祉・母子保健問題	0	0	0	1
15	教育・青少年問題	0	1	0	0
16	心身障がい者（児）福祉問題	0	0	2	0
17	母子・父子福祉問題	0	0	0	0
18	老人福祉問題	2	0	0	0
19	苦情問題	0	0	0	1
20	その他	1	4	3	1 4
	合計	2 1	2 5	5 3	5 4
	総合計		4 6		1 0 7

○こころの相談員 外部研修会

開催日	9月19日（木）
講師	鎌ヶ谷市精神保健嘱託医 大塚芳克 先生 鎌ヶ谷市基幹相談支援センター えがお 職員

内 容	鎌ヶ谷市精神保健学習会 「ひきこもりをどう受け止めたらいいのかな」 「ひきこもりを支える現場の方からの話」
参加者	心の相談員

○心配ごと相談所 相談員研修会

開催日	11月26日(火)
講 師	市障がい福祉課 職員 市健康増進課 職員
内 容	講義「各課業務・制度説明及び事例紹介」
参加者	心配ごと相談員・心の相談員

6 資金貸付事業

◎総貸付相談件数 627件

(1) 福祉資金(鎌ヶ谷市社協独自の貸付)

○低所得世帯で一時的に生活等が困難な世帯への貸付。

・貸付決定額 0円

○年度末貸付額 431,161円

(2) 生活福祉資金等(受託事業〈実施主体:(福)千葉県社会福祉協議会〉)

○低所得世帯、身体障がい者世帯等の自立支援、生活の安定を図るための貸付。

・貸付申請(決定)額 11,117,600円(29件)

資 金 種 類		貸付決定額	件 数
福祉資金	福祉費(保護世帯必需品)	127,000	2
福祉資金	福祉費(住宅改修)	2,500,000	1
福祉資金	緊急小口資金	1,335,000	14
教育支援資金	教育支援費のみも含む	7,155,600	12

○生活福祉資金等の取り扱い件数

・年度末取り扱い件数183件(福祉資金(福祉費)15、緊急小口37、教育74、総合53、離職者支援資金3、生活復興支援資金1)

- ・免除申請承認件数0件
- ・令和6年4月～令和7年3月 償還率は10.32%
- コロナ特例貸付の取り扱い件数
 - ・年度末取り扱い件数1,192件（総合750、緊急小口442）
 - ・免除申請承認件数138件
- (3) 償還を促す指導等
 - 借受世帯への償還指導等(延べ729件)
 - 「償還残高のお知らせ」等の送付(年4回)〈借受人、連帯借受人、連帯保証人、担当民生委員〉
 - 督促状、請求書等の送付及び法的措置の依頼((福)千葉県社会福祉協議会及び本会より)

7 地域福祉権利擁護事業（受託事業〈実施主体：(福)千葉県社会福祉協議会〉）

(1) 日常生活自立支援事業

福祉サービスの利用手続きや、日常生活における金銭管理等を行うことが難しい状況にある高齢者や障がい者等の生活を安定させるための相談受付及び契約業務を次のように取り扱った。また、地区社協や民生委員児童委員、介護事業所や地域包括支援センター、福祉行政機関等に対して、事業の啓発活動を行った。

①相談・訪問調査等

区 分	新規相談受付人数	契約者相談・訪問調査延べ回数
高齢者	7	102
知的障がい者	1	48
精神障がい者	6	22
上記以外	2	15
合 計	16	187

②利用契約件数

区 分	年度末 取扱い件数	件数（新規）	件数（解約）
高齢者	4	2	2
知的障がい者	2	0	0
精神障がい者	1	0	0
その他	1	1	1
合 計	8	3	3

③生活支援員状況

区 分	人 数
登録者人数	4
活動人数	4
合 計	8

④生活支援員養成研修会（オンライン）

千葉県後見支援センター主催の研修会に生活支援員7名参加。

基調講演「成年後見制度利用促進の現状と支援者の視点」

意見交換 ①「利用者との信頼関係を築くうえでの大切にしていること」

②「支援の中で困っていること・悩んでいること」

⑤関係機関連絡会

市内関係機関連絡会を3月4日に総合福祉保健センターを会場に開催した。保健福祉部及び基幹相談センターにおける権利擁護に関する取組についての発表、意見交換等を行った。

（2）成年後見制度の啓発事業

①成年後見制度・遺言個別相談会

将来に備え、成年後見制度の利用及び遺言、相続について司法書士の協力を得て、6地区社協との共催にて相談会を開催した。（市内7か所・22件）

期 日	会 場	相談件数	相談内容
10月2日	北部公民館学習室	1	①遺言について ②相続について ③贈与について
10月18日	くぬぎ山コミュニティセンター保育室	2	①遺言について ②相続について ③不動産の管理・処分
10月28日	総合福祉保健センター団体活動室	3	①遺言について ②親なきあと問題 ③贈与について
10月31日	東初富公民館集会室	1	①遺言について ②成年後見について ③任意後見について
11月12日	きらり鎌ヶ谷市民会館学習室3	4	①遺言について ②相続について ③不動産の管理・処分 ④死後の事務について
11月18日	総合福祉保健センター団体活動室	4	①遺言について ②金銭（預金）の管理・処分 ③死後の事務について ④法定後見について
11月19日	東部学習センター学習室2	4	①成年後見について ②遺言について
12月3日	南部公民館学習室1	3	①成年後見について ②遺言について

8 善意銀行

○寄付金総額 2,941,260円（40件）

金銭の払出し

(円)

払出先	金額	備考
ボランティア・福祉団体等	16,363	目的別寄付
地区社協	1,530,703	地区社協活動助成金
要援助者支援	45,356	災害見舞金、生活困窮者への食糧支援
その他	5,590	すまいる祭り用横断幕(一部)
合計	1,598,012	

○寄付物品(1件)

払出先	物品名	備考
福祉施設等	タオル	150枚

9 受託事業(実施主体:鎌ヶ谷市)

(1) 福祉作業所友和園(指定管理者制度)

法定事業所(就労継続支援B型と生活介護)の多機能型事業所として、心身に障がいがあるため就職困難な方に対し、社会生活における適応性を高める支援を感染予防対策を講じながら行った。利用人数及び定員は就労継続支援B型14名(定員20名)、生活介護9名(定員10名)であった。

令和5年度に作成した自然災害及び感染症のBCP(事業継続計画)及び感染症等の予防及びまん延の防止のための指針に基づき、研修、訓練を実施した。

生活支援の面では、社会自立、身辺自立に必要な基本的な生活習慣が身に付くように、月例行事など様々な機会をとおして、個別支援計画に沿って、具体的な支援を行った。

就労継続支援においては、知識、技能及び就労態度を養うための支援を行い、作業の面では、コンタクトレンズ用品の袋入れ、ポップの封入、かぶの袋入れ、箱の組み立て作業等の簡易作業や地域新聞の配達、公園の清掃、花壇の手入れ、アルミ缶・ペットボトルキャップ回収の作業を行った。

また、自主生産として、手芸品、紙すき製品などを作り市役所販売等外部での販売を行った。昨年に引き続き、千葉日報社より「NTT児童画コンクール参加賞」として紙すきのノート3,160冊の注文を受け製作にあたった。工賃総収入として2,656,279円であった。

その他、地域に向けて開かれた施設を目指し、毎月ゴミ拾い活動や年に1回友和園祭（11月第2土曜日）を開催した。作業所の円滑な運営を図るため、保護者会を年2回、個別支援計画の確認のため、個別面談を年2回実施した。さらに、活動の様子がわかるように園の広報紙「ゆうわ」を年3回発行した。

(2) 地域福祉センター（指定管理者制度）

地域福祉活動の拠点となる、総合福祉保健センター内の地域福祉センター（大会議室〈年間利用181回〉団体活動室〈年間利用372回〉、調理室等）の貸出し業務を行った。

※また、大会議室は2月7日から3月14日まで確定申告会場となっており、確定申告分は年間利用回数に含まれていない。

10 共同募金運動

(1) 赤い羽根募金 (円)

区 分	募金団体等	募金額
戸別募金	45自治会・町会	3,947,110
学校募金	市内小、中学校、高等学校	212,179
法人募金	商店、会社等210件	683,567
その他募金	職域、個人、団体等	533,992
合 計		5,376,848

※ 赤い羽根募金は全額、千葉県共同募金会に送金し、翌年度の事業費として約70%の配分を受ける。

(2) 歳末たすけあい募金

○収入 (円)

区 分	募金団体等	募金額
戸別募金	36自治会・町会	2,453,282
その他募金	法人、個人、団体等	248,240

合 計		2, 7 0 1, 5 2 2
-----	--	-----------------

○配分 (円)

事業名	内容	金額
生活困窮者見舞金支給事業	要援護世帯へ見舞金支給	8 5 9, 0 0 0
緊急的生活支援事業	困窮世帯への食料等支援・要援助者へ卓上カレンダー配布	3 8 8, 6 9 1
福祉ニーズへの支援事業	社協啓発活動・災害ボランティアセンター立ち上げ訓練関係	2 1 7, 0 5 9
社会福祉施設助成金事業	高齢者・障がい者・児童福祉施設・小規模作業所へ助成	7 2 0, 0 0 0
福祉関係団体助成金事業	当事者団体、こども食堂等へ助成	2 2 0, 0 0 0
地域・在宅福祉事業	障がい者福祉イベント・在宅福祉活動等	5 0 5, 2 5 0
合 計		2, 9 1 0, 0 0 0

(3) 義援金の受付・送金

○能登半島地震

- ・千葉県共同募金会へ計378,415円の義援金をお預かりし、送金した。

○能登豪雨

- ・千葉県共同募金会へ計22,000円の義援金をお預かりし、送金した。

(4) 災害見舞金の支給

- ・2件の災害見舞金として計8,000円を支給した。

令和6年度 事業報告の附属明細書

令和6年度事業報告には、社会福祉法第45条の27第2項に規定する附属明細書については、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和7年5月

社会福祉法人 鎌ヶ谷市社会福祉協議会